

# 単元構想シート

〇〇中学校 第3学年 社会科 単元名「個人の尊重と日本国憲法」

全19時間

<p>単元目標 (育成したい資質・能力)</p>	<p>対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などに着目して、課題を追究したり解決したりする活動を通して、次の資質・能力を身に付けることができるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個人の尊重についての考え方を、基本的人権を中心に深め、法の意義、民主的な社会生活を営むためには、法に基づく政治が大切であること、日本国憲法が基本的人権の尊重、国民主権及び平和主義を基本的原則としていること、日本国及び日本国民統合の象徴としての天皇の地位と天皇の国事に関する行為について理解する。 [知識及び技能]</li> <li>・我が国の政治が日本国憲法に基づいて行われていることの意義について多面的・多角的に考察し、表現する。 [思考力、判断力、表現力等]</li> <li>・個人の尊重についての考え方や日本国憲法の基本的原則などについて、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする。また、だれもが自分らしく、幸せに生きることができる社会を創ることを目指し、これからの人権保障についての課題を主体的に追究する。 [学びに向かう力、人間性等]</li> </ul>	<p>二つの側面</p>	<p>A…主に文章や図、グラフから読み解き理解する力 B…主に他者とのやりとりから読み解き理解する力</p>	<p>三つのプロセス</p>	<p>①発見・蓄積 必要な情報を確かに取り出す ②分析・整理 情報を比較し、関連付けて整理する ③再構築 自分なりに解決し、知識を再構築する</p>
------------------------------	--	--------------	--	----------------	--

単元の流れ ○主な学習活動 □指導上の留意点	「読み解く力」を育成するための手立て	「読み解く力」の育成に重点を置いた目指す児童生徒の姿	
		A：文章・グラフ・図から	B：やりとりから
<p>【導入】□道路拡張計画に賛成？反対？立場を明らかにして、その理由を説明しよう。(単元を貫く問い)</p> <p>①道路拡張計画に対して、自分の意見をもつ。個人の尊重と法の支配、効率と公正などに着目し、考えていくことを理解する。</p> <p>【第1次】「法に基づく政治と日本国憲法」□なぜ法に基づいて政治が行われることが大切なのだろう。(第一次の問い)</p> <p>②民主主義の考え方やその決定の仕方を理解することを通して、よりよい民主政治のために必要な事柄を考える。</p> <p>③政治権力が公平に行使され、私たちの自由を守るために、法の支配と権力分立が必要であることを、人の支配と比較して考察する。</p> <p>④日本国憲法の三つの基本原則は、どのような背景から成り立ったのかを考える。</p> <p>⑤民主主義と法の支配を実現させるために、国民主権と国民の政治参加がなぜ重要なのかを理解する。</p> <p>【第2次】「日本国憲法と基本的人権」□なぜ個人の尊重は大切なのだろう。(第二次の問い)</p> <p>⑥「あってよいちがいが」と「あってはいけないちがいが」に分類したときの根拠について考え、話し合いながら、私たちが自分らしく幸せに生きていくために、どのような人権が保障されているのかを考える。</p> <p>⑦自由権が侵害された場合、どのような問題が生じるかを考える。</p> <p>⑧男女共同参画社会や障がいのある人とともに生きる社会を実現する施策について考える。</p> <p>⑨現在も存在する部落差別、アイヌ民族への差別、在日韓国・朝鮮人差別の問題を解決し、共に生きる社会を実現するための施策について考える。</p> <p>⑩具体的な事例から、人間らしい生活を保障することとはどのようなことかを理解する。</p> <p>⑪参政権や請求権の重要性について理解する。</p> <p>⑫情報化に関わる新しい人権について、社会の変化を踏まえて考察し説明する。</p> <p>⑬科学技術の発展に関わる新しい人権について、社会の変化を踏まえて理解する。</p> <p>⑭国際的な人権課題を捉え、その解決の方向性について理解する。</p> <p>⑮公共の福祉による人権の制限について話し合う。</p> <p>⑯道路拡張計画に対して、自分の意見を効率と公正、個人の尊重の視点を踏まえて考察し、表現する。</p> <p>⑰道路拡張計画に対して、他の人の意見を参考にしながら、根拠を明確にして考察し、表現する。【本時】</p> <p>【第3次】「日本の平和主義」□なぜ平和主義を生かすことが大切なのだろう。(第三次の問い)</p> <p>⑱日本国憲法の平和主義のあり方を、日本国憲法の条文や資料を基に理解する。</p> <p>⑲日本国憲法の平和主義に基づいて、これからの日本の安全保障について考える。</p>	<p>【目的意識をもつ工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・単元を貫く問いと各次の問いを毎時間意識し、各次にその問いに対する自分の考えを表明する。</li> <li>・対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義の視点に着目して、課題を追究したり解決したりする活動を取り入れる。</li> <li>・人権保障について日常生活と結びつけたり、自分に置き換えたりする場面を設定する。</li> <li>・民主主義の基礎にあたる個人の尊厳と人権尊重という考え方を理解し、現代社会に見られる課題を解決するために、合意形成していくことが大切であるということを感じられるようにする。</li> </ul> <p>【学びを実感できる学習展開の工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各次の問い「なぜ法に基づいて政治が行われることが大切なのだろう」「なぜ個人の尊重は大切なのだろう」「なぜ平和主義を生かすことが大切なのだろう」を対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義の視点に着目して、多面的・多角的に考察できるようにする。</li> <li>・意見交流をすることで、他者の意見と自分の意見を比較し、参考にしながら、自分の意見を再構築する場面を多く設定する。</li> </ul> <p>◇ICTの活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・賛成・反対それぞれの立場の意見をタブレットで確認できるようにし、グループでの意見交流に生かす。また、影響を受けた意見に印(いいねボタン)をつけることで、各生徒が影響を受けた意見に注目できるようにする。</li> </ul>	<p>①文章や資料等から、目的に応じて情報を取り出す</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・我が国の政治における憲法の位置付けを図などから読み取ることで、憲法的重要性を理解している。</li> </ul> <p>②様々な情報を比較し、目的に応じて分析したり、整理したりする</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・憲法に書かれている内容を知った上で、身の周りにおける様々な人権保障に関する課題を、憲法の条文と照らし合わせながら考えている。</li> <li>・憲法をどのように解釈するか、既習の内容、これまでの自分の人生経験やその中で築き上げてきた価値観とも照らし合わせながら自分なりの考えを整理している。</li> </ul> <p>③解釈した内容を経験や知識と結び付けながら考えを深めたり、創造したりする</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的人権の尊重を中心とした個人の尊重についての考え方と、憲法をはじめとした法との関連から課題を見つけ、対立と合意、効率と公正などの視点から多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</li> </ul>	<p>①相手の言葉、しぐさ、表情をもとに相手の思いを感じ取る</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループによる意見交流を通して、憲法に基づく政治によって、国民の自由と権利が守られていることを理解している。</li> </ul> <p>②相手の思いや意図を自分の考えや経験と比較しながら整理する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人それぞれの立場や価値観のちがいがから、憲法の解釈の仕方、求める人権保障のあり方にはちがいがあふことに気づき、自分の解釈をもう一度見つめ直している。</li> </ul> <p>③やりとりを通して、相手の思いや意図を踏まえながら、自分の考えを確かなものにしたたり、創造したりする</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・他の人の考え方を知った上で、対立と合意、効率と公正の視点から考察し、自分の考えを表現している。</li> </ul>